発議第11号

熊本市政治倫理条例の一部改正について

地方自治法第112条の規定により、熊本市政治倫理条例の一部を改正する条例案を次のとおり提出する。

平成24年6月18日提出

熊本市議会議員	齊藤 聰
同	田尻 善裕
同	江藤 正行
同	牛嶋 弘
同	坂田 誠二
同	澤田 昌作
同	下川 寛
同	大石 浩文
同	家入 安弘
同	上田 芳裕
同	鈴木 弘
同	藤岡 照代

熊本市議会議長 津田征士郎 様

熊本市政治倫理条例の一部を改正する条例

熊本市政治倫理条例（平成2年条例第34号）の一部を次のように改正する。

第3条第3号中「つねに市民全体の利益のみをその指針として行動するものとし、」を削り、同条第4号を次のように改める。

- (4) 市民全体の奉仕者として行動すること。また、市民全体の代表者として、法令を遵守しその品位と名誉を損なう行為を慎むとともに、その職務に関し不正の疑惑をもたれるおそれのある行為をしないこと。

第4条第3項中「市長が」の次に「議会の同意を得て」を加える。

第6条第1項中「により」の次に「、有権者（地方自治法（昭和22年法律第67号）第74条第5項に規定する選挙権を有する者をいう。）の総数の200分の1以上の者の連署をもって」を加え、「添えて」を「添付した調査請求書を提出して」に改める。

附 則

（施行期日）

- 1 この条例は、平成24年7月1日から施行する。

（経過措置）

- 2 この条例の施行の日（以下「施行日」という。）前になされた調査の請求に係る第7条の審査については、この条例による改正前の熊本市政治倫理条例（以下「旧条例」という。）第3条第3号及び第4号の規定は、この条例の施行後も、なお効力を有する。
- 3 この条例の施行の際現に旧条例第4条第3項の規定により委嘱された熊本市政治倫理審査会の委員である者は、施行日に、この条例による改正後の熊本市政治倫理条例（以下「新条例」という。）第4条第3項の規定により、熊本市政治倫理審査会の委員として委嘱されたものとみなす。この場合において、その委嘱されたものとみなされる者の任期は、新条例第4条第4項の規定にかかわらず、施行日における旧条例第4条第3項の規定により委嘱された熊本市政治

倫理審査会の委員としての任期の残任期間と同一の期間とする。

(提出理由)

政治倫理基準における表現の明確化、政治倫理審査会の委員の委嘱に係る議会の同意及び調査の請求に係る規定を整備するため、所要の改正を行うものである。